

結核予防・BCGと 人体実験の 真相を 解き明かした 大労作!

著者

美馬 聰昭 みま さとあき

1946年北海道生まれ。1971年札幌医科大学卒。肝臓専門医。
1981年11月から肝がんの早期発見を目的に超音波による集団検診を全道で開始し、肝がんの発見率1.3%で医学界の注目をあびた。
B型肝炎は集団予防接種で広がったことを証明するために、5人の原告を集めて、1989年6月に札幌地裁に提訴した。その後、17年の歳月をかけて最高裁で勝訴。
2013年3月から北海道のC型肝炎の最大の汚染地域、由仁町三川の問題解決(開業医の注射器の回し打ち)のため、国家賠償を求めて地域の人々と共に闘った。 著書多数。

もくじ (抜粋)

- 第1章 ● 国民病 結核
- 第2章 ● 背蔭河での東郷部隊の実験
- 第3章 ● 日本脳炎の人体実験
- 第4章 ● 第4性病(鼠径リンパ肉芽腫症)の研究
- 第5章 ● 731部隊
- 第6章 ● 満州国衛生技術廠
- 第7章 ● 日本学術振興会第8小委員会
- 第8章 ● 伝染病研究所
- 第9章 ● 同仁会
- 第10章 ● 国立予防衛生研究所

たまたま入手した1冊の『結核予防接種に関する報告書』が人体実験集と分かり、その証明には4半世紀かかりましたが、遂に全貌を明らかにすることができたと思うので、記録として残すために出版することにしました。「結核予防に関する実験」は背蔭河、731部隊、満州国衛生技術廠で行われました。特に満州国衛生技術廠では、1934(昭和9)年10月~1944(昭和19)年4月まで子どもたちを実験動物として結核の研究が行われます。今回の著書は、**我が国の結核研究の人体実験を、これまで隠されてきた戦前・戦後の**手に入る限りの資料を検証して明らかにしたものです。
本書「おわりに」より(抜粋)

美馬聰昭
Mima Satoaki

BCGと 人体実験

その真相を究明する

推薦
します
北海道大学農学部教授
坂下明彦

ある報告書との出会いが、結核予防・BCGと
人体実験のカラクリを解き明かした!

満洲における背蔭河、平房、新京を結ぶ
七三一部隊を超えた枠組み。

東京帝大伝染病研究所の犯罪と戦後に続く
人脈を追究した**大労作!**

四六判・並製・264ページ
本体 **2000円**
ISBN978-4-87154-169-5

あけび書房

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-5
TEL.03-3234-2571 FAX.03-3234-2609
<http://www.akebi.co.jp> akebi@s.email.ne.jp

キリトリ線

ご記入のうえ、最寄りの書店が取引先、あるいはあけび書房が著者へご注文下さい。

あけび書房 TEL03-3234-2571 FAX03-3234-2609

注文書

書店印・取扱先

BCGと人体実験—その真相を究明する ()冊 注文します

その他・備考

氏名・団体名

ご担当者
氏名

送り先 〒()-()

電話 ()